

八戸圏域における公共交通の取組みについて

1. 八戸圏域地域公共交通に関する取組経過
2. 路線バス上限運賃政策の実施
3. 最近の取組



八戸市 総合政策部 政策推進課



1. 八戸圏域地域公共交通に関する 取組経過



八戸圏域地域公共交通に関する取組経過

八戸市地域公共交通総合連携計画（策定・・・H21.3、2次：H26.3）

八戸圏域公共交通計画（策定・・・H22.11、2次：H26.3）

※定住自立圏事業（後に連携中枢都市圏事業へ移行）

- 【主な取組】
- 市内幹線軸路線（10路線）における高頻度運行の確保（H21～）
 - 中心街ターミナルバス停留所の設置（H22～）
 - 上限運賃化実証実験の実施と本格実施への移行（H23～）
 - 公共交通アテンダント「はちこ」活動開始（H24～）
 - 日帰り路線バスパックの企画・商品化（H25～）

八戸市地域公共交通網形成計画（策定・・・H28.3）

- 【主な取組】
- 市内幹線軸路線の拡充（10路線→12路線）（H28～）
 - 3事業者合同お仕事説明会「なろうぜ！バスタイバー」開催（H28～）

八戸圏域地域公共交通網形成計画（策定・・・H31.1）

八戸圏域地域公共交通再編実施計画（認定・・・H31.3）

- 【主な取組】
- 地域連携ICカード導入（R4～）
 - 八戸圏域MaaS取組開始（R5～）

八戸圏域地域公共交通計画（策定・・・R5.3）



2. 路線バス上限運賃政策の実施



圏域のバス路線の状況

- 八戸市と圏域7町村を結ぶバス路線網は、八戸市を中心に放射状に形成されている。
 - ※ 八戸圏域公共交通計画では、これらを「広域路線」と定義（計14路線）
 - ※ 田子町と新郷村については、八戸市に直通する路線がなく乗継を要する。
- 各町村内では、町村独自の施策として、コミュニティバス等の運行が実施されている。
 （上限運賃政策は、**八戸市内路線と14広域路線（圏域内の停留所まで）**を対象に実施）

■ 八戸圏域公共交通計画推進事業

- 圏域において日常生活を営む上で必要不可欠である地域公共交通の維持・活性化を図るため、具体的な施策等を定め、8市町村と交通事業者の連携により取り組む。
 - 八戸圏域公共交通計画（計画期間：H22～H25）
 - 第2次八戸圏域公共交通計画（計画期間：H26～H30）
 - 八戸圏域地域公共交通網形成計画（計画期間：H31・R元～R5）
 - 八戸圏域地域公共交通計画（計画期間：R5～R10）
 - **路線バス上限運賃政策をはじめとする圏域公共交通の活性化策を推進**



※ 1 圏域内の八戸市域までが上限運賃化の対象範囲
 ※ 2 圏域内のおいらせ町域までが上限運賃化の対象範囲



路線バス上限運賃政策の概要

- 多くの住民の便益向上につながる**政策への転換**を図る。
- 導入時は、圏域内の路線バス運賃を、初乗り150円・50円刻み・上限500円（八戸市内は上限300円）に改定。
- 平成23年10月から平成25年9月の2年間は、**実証実験**を実施。
- 平成25年10月から本格実施。
- 令和元年10月1日から運賃改定を実施。（一律20円上げ）



対象路線

- 320円上限運賃：八戸市内の全路線（100円ワンコインバスなどの企画路線を除く）
 - 520円上限運賃：八戸圏域の複数市町村を結ぶ14広域路線（圏域内停留所まで）
- ※ 八戸市～田子町間、八戸市～新郷村間は乗継支援企画乗車券を販売（840円）

運賃設定

	(単位：円)									
当初 ～H23.9.30	130	140	150 ～190	200 ～240	250 ～290	300 ～340	350 ～390	400 ～440	450 ～490	500～
旧運賃 ～R1.9.30		150		200	250	300	350	400	450	500
新運賃 R1.10.1～		170		220	270	320	370	420	470	520

※ 八戸市内路線は上限320円



上限運賃化に伴う広域路線バス運賃の変化

No.	事業者	路線名	区間	当初 (最大)	新運賃 (最大)
1	南部	三八線（下名久井経由）	八戸市－三戸町	1,250 円	520円
2	南部	三八線（虎渡経由）	八戸市－三戸町	1,250 円	520円
3	南部	苫米地駅通線	八戸市－南部町	680 円	520円
4	南部	階上循環線	八戸市－階上町	740 円	520円
5	南部	階上中学校線	八戸市－階上町	590 円	520円
6	南部	階上庁舎線	八戸市－階上町	590 円	520円
7	南部	大野線	八戸市－（洋野町）※1	890 円	320円
8	南部	八戸線（扇田経由）	八戸市－五戸町	970 円	520円
9	南部	田子線	南部町－田子町	680 円	520円
10	南部	西越線	五戸町－新郷村	830 円	520円
11	南部	金ヶ沢線	五戸町－新郷村	680 円	520円
12	南部	諏訪ノ平線	三戸町－南部町	480 円	470円
13	十鉄	八戸線	八戸市－（十和田市）※2	900 円	520円
14	十鉄	十和田八戸線	八戸市－（十和田市）※2	900 円	520円

※1 圏域内の八戸市域までが上限運賃化の対象範囲

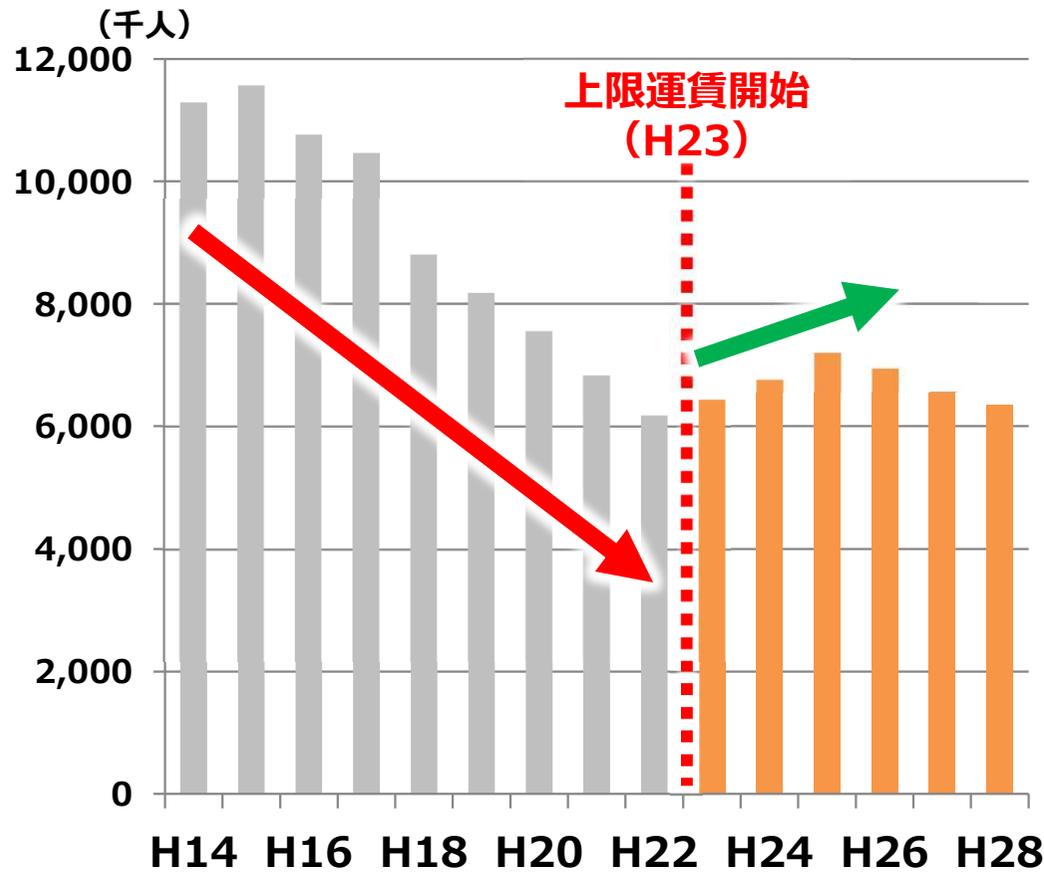
※2 圏域内のおいらせ町域までが上限運賃化の対象範囲



効果の分析（輸送人員・運送収入）

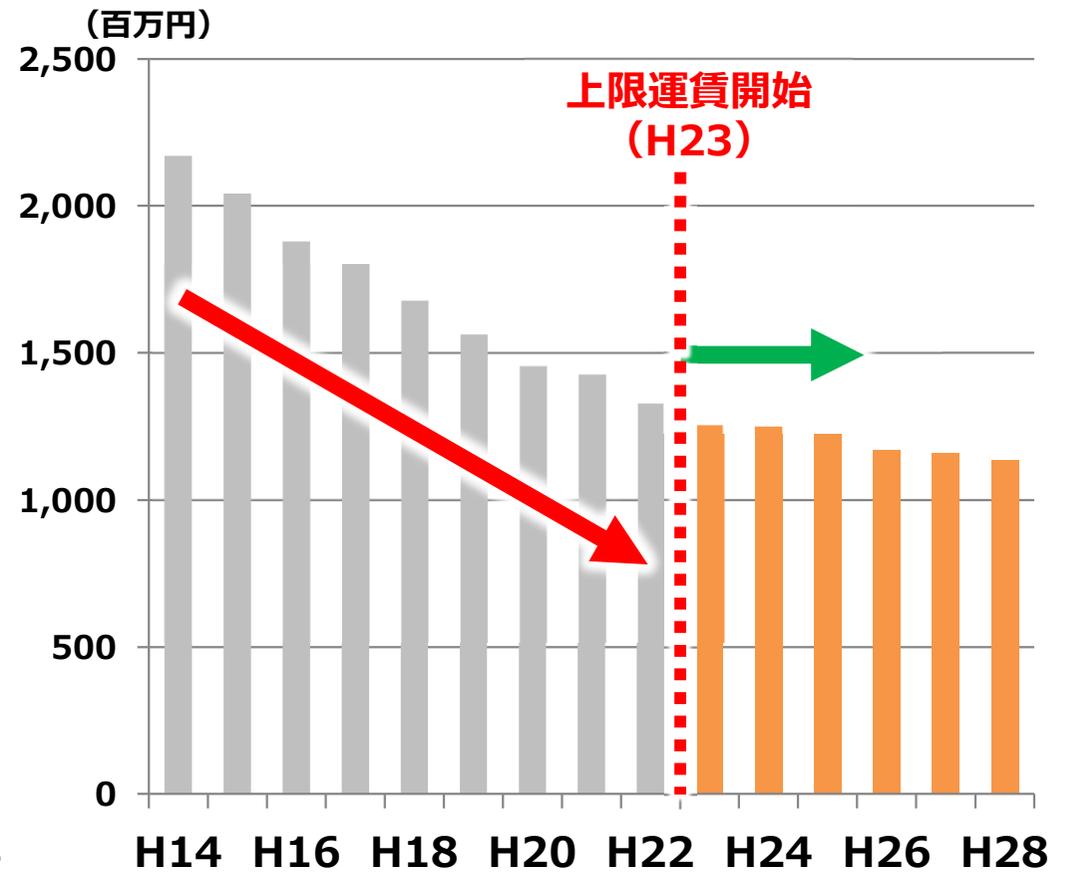
- 上限運賃化を開始した平成23年度以降、
 - 路線バス利用者（輸送人員）は、増加傾向に転換。
 - 運送収入は、おおむね下げ止まり。
- ※ 近年は微減の傾向。

輸送人員（3事業者計）



※ 福祉乗車証、高速バス、コミバスの利用者を除いた数値
 ※ H26からH27にかけ、一部事業者の集計方法に変更があり、前年度までとの単純比較はできない。

運送収入（3事業者計）



※ 各種補助金、各種負担金を除いた数値



3. 最近の取組



地域連携 I Cカードの導入

地域連携ICカードの導入

- 八戸圏域を運行する、八戸市（市交通部）と、岩手県北自動車株式会社（南部バス）では、「地域連携 I Cカード」を利用した I C乗車サービスを導入した。
（サービス開始：令和4年（2022年）2月26日）
- 公営と民営の事業者が協力してエリア全体で導入する初めてのケースであり、交通ネットワークとしての利便性向上が期待できる。

地域連携ICカードの概要

- 地域連携ICカードは、八戸圏域を運行するバスの定期券や各種割引などの地域独自サービスの機能に加え、SuicaエリアおよびSuicaと相互利用を行っているエリアで利用可能な乗車券や電子マネーなどのSuicaのサービスが、1枚で利用可能な2in1カード。
（「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です）

八戸圏域地域連携ICカードの名称

- 名称は一般公募、デザインは八戸工業大学に依頼し選定委員会にて決定
赤、青は、南部バス・市営バスのバスカラー、黄色は明るく元気をイメージできる。幅広い年齢層にICカードとわかるようにカタカナで表記





八戸圏域MaaSの取組

八戸圏域MaaSの概要

- 利用者目線で、複数の交通モードの効果的な連携によるシームレスな移動が実現することにより、市民や観光客等による利用の増加が望まれる。
- このため、八戸圏域では、令和3年度より、利用促進や将来的な複数交通モード連携を目指すため、圏域活性化協議会事業として、バス事業者の連携を目指した実証実験（圏域バスパックのデジタルチケット化）を行っている。

令和4年度実施するMaaS実証実験「八戸圏域MaaS」
青森県八戸圏域の主要路線バスが **乗り放題!**
お得なスマホ乗車券
八戸圏域の海も山も観光地もスマホ一つで全部まわれる!
便利な1日券!! お得な2日券!!
八戸圏域わくわく 1DayPass ¥1,600
八戸圏域とくとく 2DayPass ¥2,200
★発売開始記念!★ 第1弾 先着200名様 半額キャンペーン
★キャンペーン 第2弾 購入者アンケートにお答えいただいた方に Amazonギフト券500円プレゼント!
事前購入可能! スマホ内購入で安心旅!
八戸圏域の路線バスが乗り放題!!
八戸圏域MaaSHP: <http://www.hachinohe-maas.jp/>

八戸圏域わくわく1DayPass 八戸圏域とくとく2DayPass で行ける主な施設・観光地マップ
八戸圏域マップ
八戸駅からの主な施設・観光地への行き方
アプリのインストール方法
1. 対応アプリのダウンロード
2. アプリを起動
3. タケットの購入
八戸圏域MaaSHP: <http://www.hachinohe-maas.jp/>



データ可視化・分析システムの導入

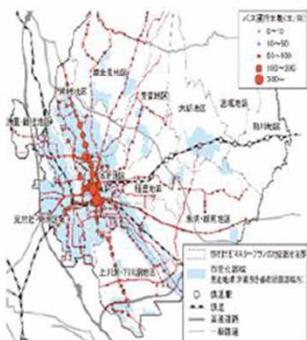
データ可視化・分析システムの概要

- 八戸市営バス、南部バスの2社が共通でICカードや運賃箱を導入したことにより、八戸圏域を運行するバスのODデータ等が簡単に入ることができるようになった。そのデータを活用して、今後の路線最適化等の検討を行うシステムを導入。

①公共交通の利用データ（ICカード等）の可視化

No1 ICカードデータの路線別・バス停別・時間帯別・曜日別・券種別の深堀分析
 ・ 路線・バス停（エリア）券種等で絞って深堀分析。時系列での変化を把握。

MAP上での可視化



深堀分析

